

令和3年度 第3回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 令和3年7月13日(火) 14:00~15:30
- 2 開催場所 小平市中央公民館 講座室2
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 11名(うちZoom参加者2名)
事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、
分館担当係長9名(大沼公民館欠席)
- 4 傍聴者 2名
- 5 配布資料 (1) 令和3年7月1日付 人事異動・・・・・・・・・・・・・資料1
(2) 令和3年度 公民館定期講座等実施状況表・・・・・・・・・・・・・資料2
(3) 令和3年度 東京都公民館連絡協議会 職員部会 報告・・・・・・・・・・・・・資料3
(4) 令和3年度 東京都公民館連絡協議会 委員部会 報告・・・・・・・・・・・・・資料4
(5) 令和3年度 第2回小平市公民館運営審議会 会議要録・・・・・・・・・・・・・資料5
- 6 次第 (1) 公共施設マネジメントについて(公共施設マネジメント課)
(2) 館長報告
(3) 令和3年度公民館定期講座等について
(4) 東京都公民館連絡協議会について
(5) その他
①関東甲信越静公民館研究大会について
②8・10月の自主研修会について

会議の概要

- 1 公共施設マネジメントについて(公共施設マネジメント課)
公共施設マネジメント課から、公共施設マネジメント関連の資料について説明した。

事前に委員から質問があったので、回答する。

- (1) 小川の公共床について、男女共同参画センターひらくの専用スペースを設けてほしい。
男女共同参画の重要性については、充分認識している。実現の仕方について、市の考え方が十分にご理解いただけてないと考えている。DVなど、安全性が最重要となるものについては、賑わいの場である小川の開かれた場より、中央エリアで女性相談などと共に受けた方がふさわしいと考えている。
また、小川の公共床には、ひらくの他に公民館・図書館・あすぴあなど複数の機能が一緒になる。お互いの活動をオープンにすることにより、団体同士の距離感が近づいたり、新たな出会いや気

づきが生まれることを期待している。

元気村の現在のひらくは、落ち着いた環境である一方、利用者・利用団体のすそ野が広がらないということが課題である。その課題に対し、より多くの人に活動を知っていただきたいと情報発信に力を入れることを考えた。

団体の皆様は当然協働のパートナーであることから、市の考えをご理解いただけるように引き続きご説明させていただきたい。開かれた場でオープンな活動を見ていただきたいという市の考えをご理解いただいたうえで、小川でより活動が広がるためにはどのようにしていったらいいか、今後も団体の皆様の知恵を借りながら話し合いを進めていきたい。

- (2) 花小金井北公民館、地域センターの名称は残るのか。公民館は、ただの貸し部屋が必要ではなく、社会教育施設として公民館が必要である。

なかまちテラスのような、愛称を募集することも考えている。現在のところ、仮称地区交流センターとしている。単なる愛称として名称を残すのか、他自治体の例えば武蔵野プレイスのように、新たな施設として条例を作って設置するのか、今後検討していく。

- (3) 社会教育という観点から、大人の学ぶ権利が縮小されるのか。

大人の学ぶ権利が縮小されるとは考えていない。

- (4) 今まで通りのサークル活動・講座はできるのか

これまでの利用に大きな変化が無いように進めるが、新たに学校との連携など活動の幅を広げてほしい。

- (5) 建物の全体的な管理はどこが所管になるのか。

基本的には縦割りが無い方が望ましいが、学校部分は校長が管理者となると考えている。一方で他の部分は、他の部署か指定管理と考えている。

- (6) 骨子案の中で花小金井北公民館の登録団体は17団体とあるが、利用団体の表記にして、一般利用団体（令和2年度実績51団体）として欲しい

そのように訂正する。

- (7) この件に関するチラシは小平第十一小や近隣の自治会に配布しているのか

小平第十一小の学区内、27の自治会には、チラシを配布している。市内の公共施設には配布している。

- (8) 公民館運営審議会でも説明の機会を設けるのか。

本日説明したが、引き続き話し合いをしながら進めていきたい。

質疑応答

委員 資料は事前配布してほしかった。学校との複合は、小平では大切で初めてのことである。小平第六小学校やなかまちテラスなどの過去の複合施設の検証をしてほしい。良いところもあるが、使いにくいところもある。市民と利用者と市の担当部署などと検証する機会を作ってほしい。公民館の名前と内容を残してほしい。オープンハウスは良かったようなので、市役所や公民館ギャラリーなどの展示など、もっと大勢の人に見てもらいたい。

委員 施設の複合化について、期待している取り組みである。震災の際、岩手県の大槌町を担当し

ていた。かなりレイアウトが重要になってくる。交流が促進されるか使いにくくなるのか、場所として共有になっている部分がどこにあるのかが大切である。成功例で言うと、防災の時に、多目的室、体育館、調理室など、地域の方が使うスペースが連続的に手前にあった。視察をしていると思うのでその辺りについて聞いてみたい。

また、大人の学び、交流できる学びについてどのような仕掛けがあるのかが重要である。コミュニティスクールの議論の中でどのくらい進んでいるのか。個人的には、不登校の子の居場所と公民館の大人の居場所があることは大事だと思う。

設計に関する視察とコミュニティスクール側のソフト面の2点を伺いたい。

- 課 長 視察について、公共施設マネジメント課と教育委員会で埼玉県的美南小学校の複合施設へ視察に行っている。いろいろな他市の事例を見ながらも、そのまま取り入れるのではなく、当市として、どのように取り入れるのか、関係者と議論して進めていく。
- 出前授業の中で、卒業した後も遊びに行けることがうれしい、との感想も得ている。コミュニティスクールの中で頂いた設備や備品に関するご意見は、基本計画というよりも、もう少し設計が進んでからの検討となる。今いただいたご意見は、市の考えと近い考え方だと思う。資料の配置・ゾーニング計画等に検討するポイントが掲載されている。

2 館長報告

(1) 委員の辞任について

春木勝男委員が、6月30日付で辞任した。

(2) 令和3年7月1日付人事異動について

資料1について報告した

(3) 公民館の運営状況について

緊急事態宣言を受けて8月22日まで、引き続き夜間の一般貸出を休止する。

(4) 令和3年6月議会について（すべて関連）

①中央エリア（仮称）新建物のスケジュールについて

現段階では、令和8年度以降の工事完了を予定している。また、市民参加の場を検討している。

②市役所等へのフリーWiFiの導入について

中央公民館、中央図書館、なかまちテラス、あすびあの4施設が導入済み。他の公共施設等については、他自治体の情報収集を実施。今後は、小川駅西口新公共施設、中央エリアの仮称新建物での整備を予定している。

③コロナ禍における公共施設の提供のあり方について

自動検温器の設置を行う予定はない。

④新しい生活様式について

デジタルデバイド是正の取組は重要であると認識している。国のデジタル活用支援事業については、動向を注視していく。

(5) 大沼公民館空調機の故障について

ホール・音楽室の系統が故障し、工事には、長期にわたることが判明した。熱中症のリスクがあることから、今年7～9月の利用を中止した。市ホームページ・ポスター・公共施設予約システム等で周知し、予約していた団体には、個別に連絡し空き施設の振り替えを丁寧に案内した。

(6) なかまちテラスのイルミネーション点灯について

職業能力開発総合大学校より、東京2020大会の機運醸成のため、大会開催期間に合わせて実施したいとの申し出があり、オリンピック・パラリンピック開催期間中、午後6時から10時まで点灯する。

3 令和3年度公民館定期講座等について

質疑応答のみ

(質疑応答)

委員 上水南公民館の子育て支援講座「もっと知りたい！～多様な子どもといっしょに育つ～」について、多様な子どもとはどういう方を対象としているのか。

分館長 2年前に発達障がいの子どもに対する理解を深める講座を実施した。好評だったので、事業企画委員会で再度、企画されたものである。今回は、どこまでの範囲にするかは、まだ講師と調整中である。

委員 小川・花小金井北・上宿公民館など定員より応募者が多い講座があるが、受講者数は定員通りなので、受講できなかった人に対する救済措置は何かあるのか。

分館長 上宿公民館の健康づくり講座「大人の体は動かしたほうが楽になる！」について、定員8人に対して、応募が39人である。2年前に実施した講座で、今回は、パワーアップした講座である。この状況を事業企画委員に伝えて、再度次年度同様な講座を開催できればと思っている。外れた方については、各館の同じような講座を案内したり、知り合いが受講していれば、知り合いから教えてもらってはどうかと丁寧に説明している。

小川公民館はサークル化を前提に、昨年、企画を提出していただいた。文化・教養講座の「漢字の成り立ちと書道」は、10人定員のところ、30人の応募があった。また、講師についてもサークル化した際に講師を引き受けてくれるかの調整をしていた。現在、サークル化を進めている中で、落選者にも手紙を出した。2回ほど体験していただき、サークルに参加していただくためのものである。

委員 仲町公民館はWiFiが設置されているが、Zoomでの講座はあるのか。

分館長 WiFi環境はあるが、Zoomの設備・ライセンスは中央公民館にしかないので仲町公民館では実

施できない。

委員 夏休み中、ジュニア講座が各館で実施の予定だが、学年を超えた集まりは学校で禁止されているが、どうなのか。

事務局 学校のガイドラインを確認している。感染対策・安全対策をしていれば可能であれば、実施できるとの判断をしている。

委員 大沼公民館の子育て支援講座、仲町公民館のサイエンスクッキング、調理の講座について工夫していることは何か。

分館長 安全対策としては、一番広いホールを会場として考えている。換気は24時間換気のため、安心いただけるが、窓も開ける予定である。ホールの一角にパーテーションを設置し、調理している場面が見えるような工夫もしている。検温や手洗いなど基本的な部分は、当然実施する予定である。

委員 仲町公民館でWiFiがあるが、Zoomを使うと1時間で切れてしまう。お金を出しても構わないので対応してほしいと利用者から要望がある。

4 東京都公民館連絡協議会について

職員より資料3、委員より資料4について説明があった

5 その他について

(1) 関東甲信越静公民館研究大会について

オンライン開催が決定した。

(2) 8・10月の自主研修会について

8月は、事業企画委員会について、10月は講演会の予定で、内容・講師について、定例会後の話し合いで決定できればと考えている。

次回は、9月14日（火）午後2時より、中央公民館にて開催する。